

# 津波避難マップ

## 尾駱地区 (1/2)

ほかの地区のマップ  
はこちらから →



<https://www.rokkasho.jp/index.cfm/9,322,63.html>

### 【このハザードマップは?】

◆津波発生時に想定される浸水区域や、避難場所等の情報を掲載しています。  
命を守るため、このハザードマップで避難場所や避難経路を確認しましょう。



六ヶ所村で最も早く津波が到達する時間は  
地震発生後約20分の予想です。

◆強い揺れ、津波警報など発表時は、ただちに高台か避難目標地点へ避難しましょう。

### ハザードマップの見方

	<b>避難目標地点</b> 津波の危険から避難するために、津波浸水想定区域の外に定める地点		<b>避難の方向</b> 避難目標地点、指定緊急避難場所等に最短で到達できる経路として村が推奨するもの ※災害の状況によって、自身で経路等を判断する必要があります
	<b>浸水想定区域</b> 津波による浸水が想定される区域で、避難指示を発令する際に避難の対象となる区域		<b>避難困難地域</b> 予想される津波到達時間までに、徒歩による津波浸水想定区域外への避難が困難な地域
	<b>指定緊急避難場所</b> 津波の危険から命を守るために緊急的に避難する場所		<b>指定避難所</b> 災害が発生した場合に、避難をしてきた被災者が一定期間生活するための施設

### 津波警報・注意報について

◆気象庁は、地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合、地震発生後約3分を目標に、津波の到達時間と高さなどの大津波警報・津波警報・津波注意報を発表します。  
◆気象庁のホームページ（防災情報）<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>

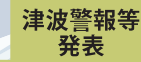


	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	◆浸水想定区域から、ただちに高台や避難場所など安全な場所へ避難してください。 ◆津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	◆木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	◆ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	◆標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。 人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	◆海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。 ◆津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	◆海の中では人は速い流れに巻き込まれる。 養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

### 津波に対する心得

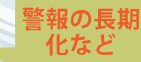
#### 1. 地震から身を守る

- ◆机の下などで落下物から身を守る！
- ◆安全を確認し火の元を確認！
- ◆テレビ、ラジオ、防災行政用無線で正しい情報収集！



#### 2. 避難目標地点・避難場所等に避難

- ◆津波注意報が出たら海岸や河川のそばから早く離れる！
- ◆津波警報以上が出たらすぐに避難を開始！（津波は猛スピードで襲ってきます！）
- ◆避難は「遠く」より「高く」。少しでも高い所へ避難！
- ◆周りに声を掛けて率先して避難！
- ◆高齢者など支援が必要な方を、助け合いながら避難！
- ◆原則徒歩で避難！（車は渋滞に巻き込まれ、逃げ遅れる可能性があります。）
- ◆津波は第1波よりも第2波、第3波の方が大きくなる場合があります。
- ◆津波警報解除まで自宅には戻らない！



#### 3. 避難所に避難

- ◆津波警報が長時間にわたる場合や自宅に戻れない場合等は避難所へ避難。
- ◆移動の際は浸水想定区域を通らない！

### 日頃からの備え

#### 非常持出品の例

- 飲料水（500ml ペットボトル2本程度）
- 非常食（乾パンや火を通さなくていいもの）
- 携帯用充電器（モバイルバッテリー）
- 懐中電灯
- 乾電池
- 貴重品（小銭も）
- 医薬品（常備薬）
- おくすり手帳
- 衣類、下着
- ウェットティッシュ
- 軍手
- 雨具（レインコート）
- 身分が分かるもの（運転免許証など）
- 感染症対策（マスクなど）



#### もしもに備えて、家族で話し合しましょう。

- ◆地震や津波の正しい知識を確認。
- ◆家族の避難場所や避難ルートを確認。
- ◆家族間の連絡方法や連絡先を確認。



家族、知人などの安否を確認する  
声の伝言板を活用しましょう。

**Step.1** 171 災害用伝言ダイヤル

**Step.2** 録音する 1 再生する 2  
暗証番号を利用 3 暗証番号を利用 4

**Step.3** 録音または再生する電話番号を入力  
0 0

**Step.4** ガイダンスに従い録音（30秒以内）または再生



家族や大切な人と日頃から話し合い、一人ひとりが津波に備えましょう。

#### 家族の避難ルート・避難の場所

※昼間や夜間、土砂くずれの場合など複数のルートを確認。

#### 緊急時の連絡方法

※災害用伝言ダイヤル（171）など

※このリーフレットの内容は、今後、防災訓練での実証等を踏まえ変更される場合があります。

# 津波避難マップ 尾駁地区(1/2)

ゲートボール場  
及び施設駐車場



至出戸

尾駁 01

## 【避難目標地点 ● とは】

津波から命の安全を守るため、避難する際に目標とする地点です。

- > 津波の浸水エリア（津波浸水想定区域）の外に定めています。
- > 避難目標地点●に着いたら、浸水エリアを避けながら、さらに指定緊急避難場所等へ避難しましょう。

避難目標地点	現況	標高(m)
尾駁 01	国道338号	10.1
尾駁 02	村道野附2号線	9.7
尾駁 03	村道野附3号線	8.8

- ◆徒歩での避難が可能な方は徒歩で避難してください。
- ◆地震による土砂崩れや道路、構造物の損壊などにも注意し、安全を確認しながら避難しましょう。

## 避難困難地域 A

避難困難地域からは車等により避難してください。  
避難先：第一中学校等

中部浄化センター

## 凡例

- 浸水想定区域
- 避難困難地域

※このマップの浸水想定区域は現在想定される最大規模の津波を基に設定していますが、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

## 【避難路等】

- 人家から避難目標地点への避難路
- - - 人家から避難目標地点への避難経路(階段・住家敷地等)
- 避難目標地点から指定緊急避難場所等までの避難路
- ← 避難の方向

尾駁小学校



尾駁小学校グラウンド  
及び施設駐車場

尾駁 02

尾駁 03

至平沼

0 75 150 m